

季節と恋愛の関係について
―リーの6類型、恋愛の開始に着目して―
明治学院大学 心理学部心理学科
10PS1120 永富まどか 11PS1155 廣川勝彦

目的

恋愛は、私たちにとって非常に身近なものである。本研究では、恋愛の始まりに目を向け、季節が恋愛のきっかけとなりうるのかを調査し、明らかにすることを目的とした。

方法

男女169名に質問紙調査を実施。質問紙の内容としては、自由記述を含む質問を用意し、リーの6類型のうち、ルダス、アガペ、プラグマの3類型を測定した。交際相手がいる人、いない人にそれぞれ「交際相手を意識しだした季節」、「恋が始まりやすいイメージのある季節」などを尋ねた。また、それぞれの質問についての性差と、3類型との関わりについて、 χ^2 検定を行い、大学生の恋愛に対する姿勢の男女の差、3類型の差についても、併せて調査を行った。

結果

一般的な恋愛に対する姿勢についての性差としては、男性よりも女性が、優しさと誠実さを異性に求め、女性は男性に家事遂行能力を男性にあまり求めていないことが明らかとなった。また告白は、女性はされる側、男性はする側が多かった。加えて、「恋が始まりやすいイメージのある季節」は、春と答えた人が有意に多いが、実際に意識しだした季節、付き合い始めた季節には有意な偏りがみられず、「季節」と「3類型」、「性別」の間には関連は見られない結果となった。

考察

「春」に恋が始まりやすいとイメージする人が多いということは、「卒業」や「進学」など、ライフイベントの影響が考えられる。現代は、男性から告白するケースが多く、女性よりも男性の方が主導権を握っているといえるのではないだろうか。

交際相手のいない人に尋ねた、恋が始まりやすいイメージのある季節では、春という回答が有意に多かったが、実際に交際をしている人に尋ねた、交際相手を意識しだした季節、付き合い始めた季節には有意な差は見られなかったことから、イメージでは、恋愛は春と結びつきやすい。しかし、恋愛関係がスタートしやすい季節は一つではなく、それぞれのタイミングで恋が始まっていることが明らかとなった。